



# 羅臼町議会だより



# しれとこ

第4回臨時会・第4回定例会 .....	2～3
一般質問 .....	4～7
Zoom up! (高校生一日議会) .....	8～10
委員会サロン (広聴広報常任委員会行政視察 斜里町役場・美幌町役場) .....	11

令和6年

**第177号**

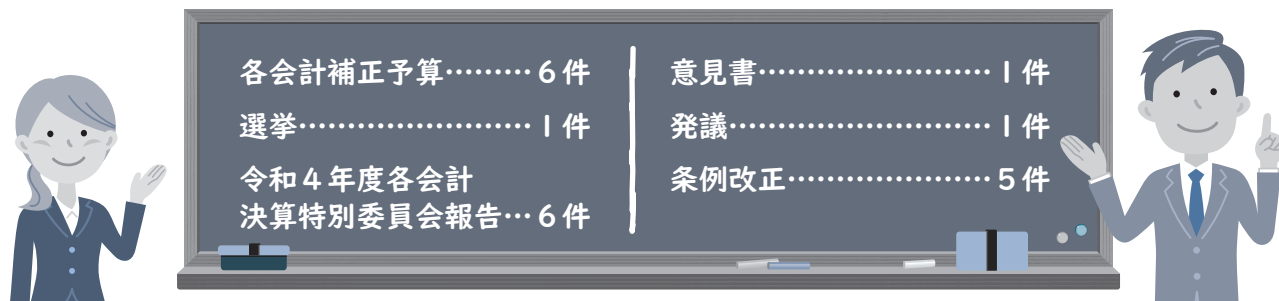
2月26日



写真提供 地域おこし協力隊 企画振興課 近藤 雨

# 令和5年 第4回臨時会・第4回定例会

去る令和5年11月13日、令和5年第4回臨時会、12月12日～15日、第4回定例会が開催されました。各会計補正予算、条例改正、発議、意見書等が上程され、原案通り可決した。



## 令和5年度一般会計補正予算

補正額 **3億2,505万円** 総額 **60億7,293万円**

議会費	議会議員に要する経費	16万円	
総務費	ふるさと納税に要する経費	2億円	
	職員研修に要する経費	309万円	
	一般行政に要する経費	321万円	
	国後展望塔に要する経費	26万円	
	特別職報酬等審議会委員に要する経費	3万円	
	賦課徴収事務に要する経費	△76万円	
	戸籍住民基本登録事務に要する経費	165万円	
	道知事及び道議会議員選挙に要する経費	△81万円	
	町長及び町議会議員選挙に要する経費	△696万円	
	民生費	障がい者自立支援事業に要する経費	372万円
		社会福祉事業に要する経費	3,576万円
		特別会計繰出金に要する経費	△1万円
		後期高齢者医療費負担会に要する経費	△1,135万円
衛生費	子育て世帯臨時特別給付金に要する経費	126万円	
	新型コロナウイルスワクチン接種に要する経費	38万円	
	葬斎場・霊園管理運営に要する経費	560万円	
	子ども医療費助成事業に要する経費	107万円	
	妊婦・乳幼児検診に要する経費	10万円	
農林水産業費	水産振興等に要する経費	△159万円	
商工費	自然とみどりの村施設管理に要する経費	1,173万円	
	物価高騰対策に要する経費	2,327万円	
	ビジターセンター管理運営に要する経費	600万円	
	ルサ地区シレココ・プロジェクト推進事業に要する経費	△250万円	
土木費	町道維持補修及び除雪に要する経費	△235万円	
	町道整備に要する経費	△1,164万円	
教育費	幼稚園の管理に要する経費	38万円	
	郷土資料館に要する経費	23万円	
職員費	給与	△4,350万円	

## 令和5年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算

補正額 **277万円** 総額 **7,785万円**

後期高齢者医療広域連合給付金 277万円

## 令和5年度国民健康保険事業特別会計補正予算

補正額 **148万円** 総額 **9億7,601万円**

総務費	共同電算化に要する経費	15万円
保健事業費	保健事業に要する経費	18万円
	返還金	120万円
	特定検診審査等負担金償還金	9万円
職員費	給与費	△15万円

## 令和5年度介護保険事業特別会計補正予算

補正額 **9万円** 総額 **4億9,760万円**

保険給付費	介護サービス等給付に要する経費	△410万円
	介護予防サービス等給付に要する経費	410万円
職員費	職員給与費	10万円

## 令和5年度水道事業特別会計補正予算

補正額 **64万円** 総額 **1億7,770万円**

職員費	職員給与費	64万円
-----	-------	------

## 羅臼町各会計決算特別委員会審査報告書

基幹産業である漁業の危機的状態に対して、関係機関との連携・協力を強固なものとし、漁業再生を図り、町の景気対策に力を注ぐことが急務であります。そして人口流出を最小限にすべく新たな雇用の場の創出や、新たな自主財源確保、魅力的なまちづくりに向けて精力的に研究と施策の展開活動をしていただきたいと思います。

また、中長期的な行財政運営に視点をおきながら、限られた財源の効率的かつ効果的な活用により、将来にわたり健全で安定した行財政運営の推進について最大限の努力をされるよう求めます。

### 羅臼町選挙管理委員会 委員・補充員名簿

〈委員〉

吉田 正一・岡本 邦子  
池田 幸世・高橋 政子

〈補充員〉

山下 公幸・芦崎 剛  
川端 美香・今 晴美

### 意見書

**北方領土問題の解決促進等を求める**  
国においては、北方四島の早期返還の実現を求める国民の総意と心情に応え、日ロ両国間において今日までに達成された諸合意に基づいて、早急に北方領土問題を解決し、平和条約を締結するため、強力な外交交渉を一層進めるとともに、特に次の事項につき適切な措置を講ずるよう強く要望する。

記

- 一 国民世論のさらなる結集と高揚並びに国際世論の喚起をはじめ、北方領土教育の充実や青少年対策を強化するとともに、内閣総理大臣による北方領土視察を実現するなど、北方領土返還要求運動の一層の推進を図ること。
- 二 「北方領土問題等の解決の

促進のための特別措置に関する法律」に基づく北方領土隣接地域の振興対策等を充実、強化すること。

三 航空機墓参を含む北方四島交流等事業の一日も早い再開に向け、具体的に進展するよう取り組むこと。

四 平和条約の締結に向けた重要な一歩となり得る北方四島における共同経済活動の協議を継続するとともに、特惠制度による国内及び第三国等から北方四島への投資などが行われないよう働きかけること。

### 条例改正

- ・ 羅臼町証明手数料徴収条例の一部を改正する条例
- ・ 羅臼町議会議員の議員報酬及び費用弁償条例の一部を改正する条例制定について
- ・ 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ・ 羅臼町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
- ・ 羅臼町国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について

# 「ここが聞きたい」一般質問Q & A

議員は毎年3月・6月・9月・12月に開催される定例会で、町政全般に対し、質問することができます。これを「一般質問」と言います。

今回は4名の議員が質問しました。

本文は、質問した議員本人の責任で執事（要約）した原稿を掲載しています。

## 令和5年 第4回定例会 一般質問

小野 哲也 議員



### クマ対策について

#### 質問

今年のクマ出没状況及び被害状況と、例年との比較について

クマの出没や被害に対する国及び道等の自治体、または警察等、諸団体を含めた上での町としての現時点での対応、ガイドライン、姿勢等について  
今後想定される被害等についての対応策について

町長等の対応を講じ、重大被害を抑止するとともに、関係団体との連携の下で体制を維持します

#### 湊屋町長

今年度の出没頭数は、十一月末現在で累計六一三頭を数え、過去に例の見ない状態であり、五四二回に及ぶ現地対応を知床財団と共

に実施しています。

被害状況は、風除室の窓破壊が一件、倉庫のシャッターやゴミ保管箱の破損被害が七件、加工場や家庭の廃棄物に誘引されたケースが十一件、干し魚等の被害が七件、自動車との衝突事故が三件、漁港への出没が九件、搭乗中の軽トラックに攻撃した事例一件、又異なる地域で同時出没が発生し、対策員を補充して分散するなどした場面も生じています。

町としての対応は他地域に先んじて、夜間の銃器使用を可能とする等で対応しています。

知床半島はヒグマが高密度で生息し、全国でも特に出没が多い地域です。

〈ヒグマ被害件数〉  
・ゴミ荒らしや建物損壊等の物的被害  
行動段階2 28件

住民の安全を第一義に据えながら、軋轢を軽減させ、ヒグマとの共存を目指してはいますが、近年はヒグマが人の生活圏の間近で棲息域を拡大しており、地域の力だけでは限界があります。このままでは人とヒグマとの関係が最悪の状態に陥る事も想定でき、重要な岐路に差し掛かっています。関係機関とより一層連携を強め、その進展につなげていきます。

（行動段階とは、知床半島ヒグマ管理計画で定めたヒグマの危険性で、低0↓3高となっています。）

※うち1件は人身被害が発生したが、環境省事業のシカ駆除中の事故という特殊性あり

行動段階3 3件



山下 竜哉 議員



火葬場や清掃センター  
建屋内で使用されて  
いる水について

質問

火葬場や清掃センター建  
屋内で使用されている水は、  
水道水とは違うと伺ってお  
りますが、現在は衛生的で  
管理された水が使用されて  
いるのでしょうか？

長 コスト面も含め、安全  
な水を提供する方法を  
検討している最中です

湊屋町長

火葬場や清掃センター建  
屋内で使用されている水は、  
以前より山水から簡易的な  
ろ過装置を通して供給して  
おり、安心安全とは断定で  
きないため飲用には適さず、



清掃、トイレや手洗い等に  
使用されております。

両施設の委託業者が自ら  
自宅等から水道水を持ち込  
んで使用していると言う現  
況であり、本来は両施設ま  
で上水道を供給するのが一  
番の解決方法ですが、多額

の経費を要するためコスト  
面も含め、両施設に安全な  
水を供給するための方法を  
検討している最中でありま  
す。

羅臼町におけるDX  
の推進について

質問

①DXの推進状況と今後に  
ついて伺います。

長 庁舎内にDX検討プロ  
ジェクトを設置し検討  
しております

湊屋町長

現代ではICTの浸透が  
進み、過疎地や地方都市で  
もDXの推進が求められて  
います。羅臼町も他市町の  
先進事例を視察し、庁舎内  
検討プロジェクトを設置、  
住民の利便性向上のために  
住民票のコンビニ交付シス  
テムや電子決済、セルフレ  
ジの導入などが検討されて  
おります。

質問

②DXを推進するうえで業  
務の妨げとなる事案の有  
無、係る人材の拡充・教  
育について伺います。

湊屋町長

DXの主な課題は、人材  
不足と情報システムの共通

化です。IT分野の人材確  
保が難しく、羅臼町ではD  
X推進体制の構築と人材育  
成を目指しています。

また、コスト面も考慮し  
今後システム改修を検討し  
ながら順次DX化を進めて  
まいります。

質問

③住民や産業に対し、デジ  
タルを活用した事業の推  
進に係る令和六年度の展  
開を伺います。

湊屋町長

高齢化が進む中、羅臼町  
は健康、医療、交通、防災  
などに亘りDXを推進し、  
便利で快適かつ安心な町づ  
くりを急務としています。  
第一次産業ではスマート農  
漁業を進め、水産業では操  
業データの蓄積・分析を行  
い資源評価・管理を促進、  
これにより漁業の効率化や  
生産向上が期待され、未経  
験者でも経営可能となり新  
規参入や後継者の育成に寄  
与され、漁業者の声を考慮  
し早期にシステムの構築に  
取り組んでいく方針です。

質問

④悪天候時に観光客に対す  
る観光コンテンツとして  
AR（拡張現実）の導入  
または活用の意志はあり  
ますか？お伺いします。

湊屋町長

羅臼町の観光コンテンツ  
は体験型や施設見学、温泉  
などありますが、悪天候で  
中止の場合の代替案が限ら  
れるため観光客の滞在時間  
の短縮が課題とされており、  
議員より提案されたAR技  
術が画期的であることは承  
知しておりますが、知床ま  
で来る価値が薄れる事が懸  
念されます。知床の自然美  
を尊重し、現時点ではAR  
導入を検討しておりません  
が、デジタル技術の進化に  
伴い、将来はこれら技術の  
活用には柔軟に対応したい  
考えです。

※DX：デジタル技術を活  
用し、社会や暮らし全体

が便利になるための取り  
組み

米井 宏喜議員



**保護猫の里親への補助と地域猫の取り組みについて**

**質問**

今年度、羅臼町においては、保護猫の里親募集が二件ほど行われましたが、町で生まれた命に対してはできる限り町が責任を持つべきだと考える。一般の家庭がこれらの猫を引き取った際には、感染症の検査や不妊手術などが必要であり、それには一定の費用がかかる。特に、猫エイズに感染している猫は多頭飼いが難しいため、先住猫のいる家庭では注意が必要である。

このような状況から、町が野良猫の保護を行った際に、里親に対して最低限必

要な検査や不妊手術にかかる費用を町が補助できないか検討してほしい。

また、羅臼町には野良猫を見かける場所もあり、自分で飼うことができないが餌やりを行っている住民もいる、しかしながら、引っ掻きや噛みつきによる感染症のリスクや悪臭による環境被害が懸念される。この問題に対処するためには野良猫を保護し、不妊手術を行うことが有効である。これにより、攻撃性が低減し、発情期によるマーキングがなくなり、地域猫としての安心した共生が可能となる。



取り組みを進めることはできないだろうか。

**町長** 飼い主の責務と考える為、補助制度創設の予定は無い。保護猫活動は現段階では不可能。

**湊屋町長**

検査費用等の補助は犬猫の引き取り実施主体である北海道の各振興局や各保健所でも検査や不妊手術は行っておらず、それらについては新しい飼い主をお願いしている状況で、羅臼町においても、これらのことは飼い主の責務と考えるため、補助制度創設の予定はございません。現状では、保護

**〈猫の里親募集中〉**

役場では、3匹の子猫の里親を募集しています。ご興味のある方は、環境生活課までご連絡下さい。  
環境生活係：87-2115  
(※令和5年8月23日のSNSから抜粋)

した猫は飼い主を探し、飼い主が不明の場合は、北海道と協議し、町で新しい飼い主を募集するなどの対策を講じ、新しい飼い主が見つかった場合、保護猫や保護犬等を譲渡する際は、大切に飼育するよう口頭にてお願いしております。今後は、新しい飼い主に対して、行政機関からの譲渡犬猫の不妊手術助成制度を実施しているNPO法人もありますので、それらの情報を積極的に提供して行きたいと思えます。

地域猫活動は一定の効果はあると思いますが、この活動はあくまでも地域住民合意のもとに行う活動であり、現段階で当町では不可能と考えます。今後も引き続き地域住民に対して餌やりを行わないように注意喚起活動を積極的に行い、北海道や近隣自治体とも連携しながら取り組んでまいります。



加藤 勉議員



羅臼高校の魅力化対策について

質問

令和三年度の町長行政において、令和三年度の羅臼高校入学志願者数から、将来羅臼高校の存続が危ぶまれるとして、町民が誇れる魅力ある高校づくりを進めるため、令和四年度に魅力化計画を作成しています。これらの支援策による効果と、今年の羅臼高校入学希望者数について伺います。

町長 魅力化計画で、高等学  
校と連携して取り組ん  
でいる

湊屋町長

令和四年度より始めた  
「北海道立羅臼高等学校の

令和4年度  
北海道立羅臼高等学校入学者への支援一覧

学力向上	1, 新入学生へのPC贈呈（新入学生） ①一人一台端末
	2, リクルートスタディサプリ初期設定済み（基本コース）（全生徒）
	3, 専門書購入補助（全生徒） ① 1/2 上限10,000円
	4, 予備校夏期・冬期講習会受講費用助成 ①交通費、受講料の全額助成
	5, 国公立大学入学料を祝金として30万円支給
英語教育の充実	6, 各種検定受験料助成（全校生徒） ①漢字能力検定試験や英語検定試験に係る受験費用の半額助成 ②実用英語技能検定 受験料全額助成（1回/年）
	7, 修学旅行（海外）費用助成（2年生）…現在休止中 ①世界自然遺産地区 ②英語圏
	8, 海外留学の実施 ①英語圏への短期（1か月程度）留学 ②英検準2級以上対象、最大2名（成績優秀者） ③3年生もしくは2年生
	9, 部活動個人備品および消耗品購入費一部助成 ①上限10,000円
特色ある取組	10, ふるさと教育活動費（幼小中高一貫教育推進協議会） ①ESDの実施 ②ユネスコスクール教育活動 ③自然環境類型教育学習活動 ④継続した環境活動、歴史文化や郷土愛を深める教育活動 ⑤海洋教育サミット ⑥高校生の水産教室（スクールダイビング資格・潜水士資格取得）

「魅力ある取り組み」は大きく六項目あり、合計十四点の取り組みがされています。その取り組みに対し羅臼町や羅臼町教育委員会が支援しており、高校と教育委員会の定例懇談会を通して情報や課題を共有し必要な対応について検討し、取り組みの拡充や焦点を絞った

連携など継続して実施しています。こうした取り組みのもと令和四年度以降知床未来中学校の卒業生の約五十%が羅臼高校に進学しています。北海道のルールでは二十名未満が二年、地域連携校になると十名未満が二年続くと統廃合の対象になるな

ど様々なルールがあります。これらをクリアする内容となっていると、保護者の負担軽減、教育環境の充実が図られているものと考えております。二点目の令和六年度の羅臼高校の入学者数については、現段階では確定していません。

なお、北海道では令和六年一月二十六日に入学願書数を公表することになっています。羅臼高校は連携型による選抜を選択していますので連携の欄で人数を確認することができません。

# 羅臼高校生の一日議会 11月7日開催



議長 濱屋 宗志君

令和五年の高校生一日議会が、十一月七日議会議場で開催され、高校生十九名が議長役 濱屋宗志君のもと五グループに分かれ、議会議員のアドバイスを受けながら町理事者に十二件の一般質問をしました。

質問内容と理事者からの答弁内容は次のとおりです。  
※質問・答弁内容は要約しています。



## A班質問

①湯ノ沢町方面のバス停設置について

現在、湯ノ沢地区はバス停がないのでバス停を設置して欲しい。

②一時的な学習スペースの設置について

「らうすぽ」の会議室を一時的に自習室として開放して欲しい。

③テーマパークについて

羅臼の「海」をテーマとした施設について

質問者 小林 快地  
山崎 妃華

## 湊屋町長答弁

一件目については、阿寒バス羅臼営業所から湯ノ沢町住宅街までは約1km程度です。新たなバス停は役場単独では設置できませんが、関係方面と協議し、路線の延長及びバス停の設置も含めて要請していきます。

三件目について、「海」をテーマとする場合、整備場所は海岸沿いとなり、土地確保には規制も有り困難ではありますが、水を使ったイベントは他のイベントとの連携も考えられるので、高校生の皆さんからぜひご意見をお寄せください。

## 教育長答弁

二件目の一時的な学習スペースの設置については、「らうすぽ」の利用状況から、学習スペースとして常時開放することは難しいと考えられます。

なお、空き家の利用についても提案がありました。空き家だけでなく、様々なスペースの利用についても今後検討させていただきます。

## B班質問

①オープンキャンパスに対する交通費補助について

羅臼から参加するには交通費、宿泊費も高額になります。交通費補助について要望します。

②漢検の受験料の支援について

漢字検定受験料は半額助成となっておりますが、全額補助を要望します。

質問者 福田 詩甫  
中村 妃花

## 教育長答弁

一件目については、オープンキャンパスは、自分が学びたいことを学べる環境の確認や他校との比較や学校との相性を見極める機会でもあります。

②漢検の受験料の支援について  
自費で参加して進学したい学校かどうかを見極めて欲しい。

なお、経済的な理由で修学が困難な方には、修学資金貸付制度もあります。

二件目の漢字能力検定料の支援については、いままで通り検定料の半額を助成しています。

その他、進学や就職に必要な検定料について必要な生徒がいれば検討していきたいと考えます。

## C班質問

①熊の湯の整備について

脱衣場などをリニューアルして、利用しやすい熊の湯を要望します。

②学校のエアコン設置について

羅臼高校にはエアコンが







無く、夏は授業に集中できるような環境ではありません。せめてホームルーム教室のみでも設置して欲しい。

質問者 桜谷匠太郎  
芦崎 未珠

**湊屋町長答弁**  
一件目について熊の湯温泉は、昭和五十三年に浴槽が完成しました。その後、熊の湯愛好会が管理を行っている施設です。

国立公園内に位置するため、環境省の基準に沿った建造物にしなければなりません。町民憩いの場所でもあり、観光客にも親しまれている施設でもあることから、施設の老朽化の状況を見ながら、改修の判断をしていきます。

③バスケットボールコート  
の設置について  
町民体育館だけでは利用しづらいため、幌萌町の運動公園に屋外のバスケット

海岸町以北では、買い物ができる商店がない。移動販売車の導入を検討して欲しい。

④町内巡回バスの増便・ダイヤの変更について  
前十四時台、十八時台の便ができれば午前授業と部活動終了時に利用できるようになりますので検討願います。

質問者 石井 溪人  
竹内 光我

**湊屋町長答弁**  
一件目について、ロープウェイの整備には、景観、施設整備費用、安全運行などに相当な費用を要します。さらに、既存のリフトの活用についても、構造や強度等の面で、活用が困難であり、実現は難しいことをご理解下さい。

二件目は、羅臼町北部での生活必需品を扱う店舗は有りません。近年は近隣のスーパーから配達するシステムやインターネットでの購入もできるようになっています。もし、民間企業で導入する方がいましたら、町として協力できる支援を

検討していきます。

四件目は、現在の運行は町内学校の通学、高齢者等の通院を考慮して運行しています。全国的にバス運転手が不足しており、増便は難しい状況にあり、当面は現状の運行体制にご理解をお願いします。

**教育長答弁**  
三件目のバスケットボールコートの設置要望ですが、総合運動公園も老朽化が進み毎年整備をしながら使用しています。さらに人口減少が進み、競技人口が減少しているため運動公園の利便も少なくなっています。

一方、気軽に楽しめて身近なそれぞれのニーズに応じたスポーツ活動が展開されておき、運動公園の一層の活用が期待される場所です。このたびのバスケットボールコートの設置希望については、総合運動公園に限らず、今後の施設整備の中で検討してまいります。



**教育長答弁**  
二件目について、羅臼高校は北海道立の高校なので北海道教育委員会が所有する施設です。

よりよい教育環境の整備のため、北海道と連携して支援策の要請を行っていきます。

**D班質問**  
①町内のロープウェイ設置  
について  
海や岩など羅臼の自然を一望できるアクティビティとしての機能も考えられる。また、元々あるスキーフットの活用も検討して欲しい。

②移動販売車の導入について  
海や岩など羅臼の自然をウエイの整備には、景観、施設整備費用、安全運行などに相当な費用を要します。さらに、既存のリフトの活用についても、構造や強度等の面で、活用が困難であり、実現は難しいことをご理解下さい。

ポールコートの設置を要望します。

④町内巡回バスの増便・ダイヤの変更について  
ダイヤを変更して、高校前十四時台、十八時台の便ができれば午前授業と部活動終了時に利用できるようになりますので検討願います。

質問者 石井 溪人  
竹内 光我

**教育長答弁**  
三件目のバスケットボールコートの設置要望ですが、総合運動公園も老朽化が進み毎年整備をしながら使用しています。さらに人口減少が進み、競技人口が減少しているため運動公園の利便も少なくなっています。

一方、気軽に楽しめて身近なそれぞれのニーズに応じたスポーツ活動が展開されておき、運動公園の一層の活用が期待される場所です。このたびのバスケットボールコートの設置希望については、総合運動公園に限らず、今後の施設整備の中で検討してまいります。

①スクールバスの導入について  
学校の午前中授業や熊の出発時に対応できるスクールバスの配置を望みます。

質問者 竹田 力矢

**教育長答弁**  
現在の通学バスは、自宅から学校まで送迎を行うスクールバスとは異なり、定期路線バスを利用したバス通学を実施しています。

教育委員会では、バスの増便についてバス会社に要望していますが、運転手の確保が難しく、実現できていません。様々な課題はありますが、いろいろな切り口を考えながら検討していきます。



ペーパーレス化と  
YouTube配信に向けた  
行政視察

斜里町役場・美幌町役場

十一月十四日、議会におけるペーパーレス化に向けた取り組みとして、広聴広報常任委員会では、実施している近隣の自治体である斜里町役場と美幌町役場に訪問させていただきました。本町でも、近年のデジタル化が進む中で、迅速な議会運営や議会の活性化など、それらの有効的な手段として議会のタブレット導入や配信サイトから町民に向けた発信を取り入れようと考えております。

そのためには、活用上のルールや活用方法の明確化や費用面等（情報共有システムソフトの使用等）の課題などがあります。が、町民が分かりやすい議会運営に向けて進めていきます。

ペーパーレス化（タブレット導入）のメリット・デメリット

メリット

1. 過去の議案や資料を容易に確認することができる。
2. 資料の持ち運びや整理（タブレット内で処理できる）が容易にできる。
3. 日程等の共有が即時にできる（カレンダー機能等）。
4. 議案書等の内容変更による資料の差し替えが容易にできる。
5. 職員の業務改善が図られる（資料の印刷等）。

デメリット

1. 操作に不慣れな議員には時間が必要。
2. 同時に複数の資料を閲覧しづらい（2画面機能はあるが小さく表示される等）。
3. ネットワークの影響を受ける（Wi-Fi環境や個別のモバイル契約が必要になる）。



美幌町役場にて



斜里町役場にて

☆2町とも動画配信（YouTube等）を行っております。

羅臼町役場には配信に必要なとされる撮影録音の設備がある程度備わっているため、今後、配信サイト登録の準備等を進めていこうと考えています。

☆共有ソフトウェアの選択については、今後、広聴広報常任委員会内で数社のデモンストレーションを受け、決定していこうと考えています。（SideBooks、moreNOTE等）



# 議会の動き

## 10 月

- 2日 総務民生・経済文教常任委員会合同行政視察
- 4日 第1回決算特別委員会
- 5日 広聴広報常任委員会
- 16日～17日 ロシアトロール船操業停止要請活動（札幌市・東京都）
- 16日 第2回決算特別委員会
- 17日 第3回決算特別委員会
- 18日 広聴広報常任委員会
- 18日 議会改革サポート会議（広聴広報常任委員会関係）
- 27日 根室町村議会議長会主催議員研修会（別海町）

## 11 月

- 6日 議員と高校生との懇談会
- 7日 令和5年度羅臼町高校生一日議会（2年生）
- 10日 第4回決算特別委員会（総括）
- 13日 議会運営委員会
- 13日 令和5年第4回臨時会
- 13日 全員協議会
- 14日 広聴広報常任委員会行政視察（斜里町・美幌町）
- 21日 羅臼海上保安署業務説明及び意見交換・てしお見学会
- 27～28日 根室町村議会議長会視察研修（香川県・岡山県）
- 29日 第67回町村議会議長全国大会（東京都）

## 12 月

- 1日 北方領土返還要求中央アピール行動「アピール行進」（東京都）
- 6日 議会運営委員会
- 11日 全員協議会
- 11日 議会運営委員会
- 12日 令和5年第4回定例会（1日目）
- 13日 経済文教常任委員会
- 14日 総務民生常任委員会
- 15日 議会運営委員会
- 15日 令和5年第4回定例会（2日目）
- 15日 総務民生・経済文教合同常任委員会
- 15日 行政と議会議員との懇談会
- 21日 令和5年度根室町村議会議長会第1回臨時総会
- 26日 行政懇談会

## 1 月

- 4日 令和6年羅臼消防団出初式
- 7日 令和6年羅臼町20歳のつどい
- 10日 広聴広報常任委員会
- 23日 町長・町議会議長と商工会正副会長が新年を迎え語り合う会（中標津町）



新メンバーにて議会だよりを発行してまいりましたが、これまで以上に町民皆様に見て読んで頂けるような紙面づくりを目指してまいりますので、これからもよろしくお願います。

編集を終えて

# 第1回 議会改革サポート会議

- ・議会だよりについて
- ・議会報告について

## サポート委員（出席者）

濱松 幸保  
石田 一美  
野 祥子  
秋田谷 良子  
井田 みゆき  
松田 眞弓

# 根室町村議会 議員研修会（別海町）



- ・一般質問検討会議から議会の政策形成へ
- ・別海町議会改革 息吹→根付き→進化→転機→加速→確立→手順→効果

